



農業知識広場

農へのこだわり

〜知っててよかった〜

木村一成 指導員
(広島北営農事務所)



七転八起の精神で何回転んでも力強く起き上がり頑張ります。

石灰資材の種類と使い方

石灰資材は、カルシウム分(石灰)を含む肥料の総称で、植物の生育に必要な成分の補給と酸性に傾いた土壌を中和し、中性から弱酸性に矯正することを主な目的として使用します。

●生石灰

酸化カルシウムが主成分で、水を加えると発熱し100°C近くになることから、農業の現場ではあまり使用されていません。土壌中和効果は即効性で、施用後1週間以上経過してから植えつけします。

●消石灰

水酸化カルシウムが主成分で、生石灰に水を加えてできたものです。主に土壌



のpH調整に使用します。土壌の酸性矯正力は強く、散布直後の播種・定植

は根を傷めるので、早めに施用してください。

●苦土石灰

ドロマイトという鉱石を加熱し粉末にしたもので、炭酸カルシウムと炭酸マグネシウムが主成分です。作物に必要な石灰・苦土(マグネシウム)の補給とともに、土壌の酸性を矯正します。苦土石灰は他の石灰資材に比べて効果が穏やかなことから、同時に植えても大きな問題にならないことが多いとされています。が、せめて定植の1週間前には散布しておきましょう。



●カキガラ石灰

カキガラを原材料とした資材で、微量要素を豊富に含み、石灰の効果が長



量要素を豊富に含み、石灰の効果が長

く緩やかに持続します。特に、カルシウムが不足すると欠乏症が出やすいトマトや白菜・キャベツなどに効果的な資材です。

●JA広島市オリジナル石灰資材

「土肥これだけスーパードロマイト」石灰や苦土に微量要素や堆肥のエキストもいえる腐植を加えた、JA広島市オリジナル商品「土肥これだけスーパードロマイト」は微量要素入り石灰資材で、水稲、野菜、果樹等に幅広く使用できる総合土づくり肥料です。



pHを1上げるのに必要な石灰量の目安

土壌の種類	石灰の種類	
	苦土石灰(kg)	消石灰(kg)
黒ぼく土	280~380	240~320
砂壤土	170~210	140~180
砂質土	90~140	80~120

(kg/10a)

営農のことに関するアドバイス

営農110番

水稲・野菜・花き・果樹など、農業に関するアドバイスをいたします。

受付：平日 9:00~17:30

- 広島南営農事務所 ☎(082)849-6355
- 広島北営農事務所 ☎(082)841-4919
- 山県営農事務所 ☎(0826)85-0020
- 本店指導販売課 ☎(082)870-5893

※本店指導販売課では土曜日9:00~12:00まで対応

今月の農作業

【果菜類の定植時期】

トマト、キュウリ、ナスは、4月下旬以降で晩霜の心配がなくなつてから定植します。(北部は1~2週間遅くなります)

オクラ・エダマメ・カボチャ・スイカなどは5月上旬以降が適期です。早植える場合は、苗キャップや苗帽子などで寒さ対策や晩霜対策をしましょう。

【定植苗の適期】

トマト……本葉8~9枚で1~2番花が開花
ナス……本葉7~8枚で1番花が咲きはじめ
ピーマン……一番花が咲きはじめ
キュウリ……本葉3~4枚